

過去のお知らせ

2018年5月 院長よりお知らせ

過日の福岡で起きた医療事故につきまして、問合せと、不安を訴える方がいらっしゃいましたので、当院での現状を再度説明させていただきます。

当院では空気塞栓が起きる可能性のある「卵管通気検査」は行っておりません。

卵管通気検査は、空気ではなく、血管に入ってもすぐに吸収され、血管を詰まらせることがないと言われる炭酸ガス（二酸化炭素）を用いれば安全とされておりますが、万が一を考え、それも当院では行っておりません。

卵管造影検査は、空気と違って、万が一血管に入っても安全な「液体の」造影剤を使用しております。

また、予め考えられるトラブルを防ぐのは当然ですが、万が一起きたトラブルに対しても、救急施設、麻酔科医師などが整った大原総合病院のサポートの元、院長をはじめ、ベテランの不妊専門医が卵管造影検査を行うため、万全の体制で検査が可能です。

卵管造影検査を行うに当たって、これほど患者様にとって理想的な環境は、なかなか整える事が出来ないと自負しておりますので、安心して検査を受けていただければ幸いです。

また、クリニック内で行っております子宮鏡検査でも二酸化炭素や空気ではなく、生理食塩水を使用しておりますので、過日報告されたような重大事故は当院では起きる可能性はございません。

